



Hola! (オラ!こんにちは)

オラが町

オリパラ通信 Vol.21

オリンピック・パラリンピックのシンボルマーク

オリンピックといえ、5つの輪が繋がっている五輪のマーク。では、パラリンピックのマークは？パッと浮かぶでしょうか。今回は、そんな2つのシンボルマークを紹介します。

オリンピックマーク「五輪マーク」

オリンピックのマークは、日本では「五輪マーク」とよばれ、1914年IOC（国際オリンピック委員会）創立20周年に、近代オリンピックの創始者クーベルタン男爵が考案しました。

繋がりが合っている5つの輪は、世界の五大陸を表しており、オリンピックが世界大会であることを意味しています。

また、「全世界の人々が平和の精神のもと、スポーツで手を繋ぎ合おう」という思いが込められています。

五輪マークは、左から青・黄・黒・緑・赤で描かれており、世界中の国旗が描ける色として選ばれました。

このマークは、1920年アントワープ大会（ベルギー）から使用され、世界中の人々に広く知られています。



パラリンピックマーク「スリー・アギトス」

一方、パラリンピックのマークは歴史が浅く、初めて発表されたのは1988年ソウル大会でした。その後二度変更され、現在のマークは3代目で、2004年アテネ大会から使用されています。

赤・青・緑で描かれた3つの曲線が、中心を取り囲んだ「動き」を象徴する形で、赤は心、青は体、緑は魂を表しています。

また、このマークは「スリー・アギトス」と呼ばれています。アギトとは、「私は動く」という意味のラテン語です。困難なことがあっても諦めずに、限界に挑戦し続けるパラリンピック選手を表現しています。

自由に使用できない、シンボルマーク

この2つのシンボルマークは、許可なく自由に使用できないため、イラストでの紹介は控えました。ヒントは上のイラストです。